

資本主義土台に個人の自由発展

18日発売の『週刊文春』

(4月25日号)の「阿川佐

和子のこの人に会いたい」

に日本共産党の志位和夫議

長が登場し、エッセイスト

の阿川さんのインタビュ

に答え、日中関係、野党外

交、日本共産党の未来社会

論について縦横に語りまし

た。

日中両政府に提起

志位議長は、日中関係に

ついで阿川氏の質問に答

えて、日本共産党が、尖閣

諸島などで力づくで現状を

変えようとすると中国の動き

に抗議していると説明した

うえで、「日中双方に問題

があって、対立がエスカレ

『週刊文春』インタビュー

志位議長 縦横に語る



志位和夫議長へのインタビューを掲載する『週刊文春』4月25日号

ートしていく危惧がある」と指摘。日本共産党は外交で打開するための「日中両

国関係の前向きの打開のため」に」と題する提言を日中

両政府に提起し、岸田文雄首相から「大体賛成です」、

中国からも「全体として賛

成だ」と返事をもらっている

と紹介しました。阿川氏が「でも、動かな

いんですね」と述べると、志位氏は「そんなことはな

い」と述べ、2023年の日中首脳会談で、「戦略的

互恵関係」(08年)を再確

認したと指摘し、「一歩前

進だ」と述べました。

阿川氏が「社会主義の国

が次々にダメになるのは、

何が間違っているんですか

ね」と問うと、志位氏は、

日本共産党が目指す未来社

会は、旧ソ連や中国のよう

な自由のない社会ではない

と指摘し、「議会制民主主

義が存在しないところから

始めたロシアや中国と違っ

て、日本は発達した資本主

義の土台があり、その上で

先に進むわけですから」と

説明しました。

阿川氏が「共産党のイデ

オロギーのもので、自由と

平等は同時に成立するんで

すか」と質問。志位氏は

「万人の自由な発展」こそ

共産主義の理念だとし「突

き詰めると「自由な時間を

持つことだ」と強調しまし

た。資本主義のもので

は時間を搾取されてしまっ

が、労働時間が1日3時

間、週3日労働で、あとは

自由時間となれば、本人が

「自由に処分できる時間」

を使えるようになる」と語り

ました。阿川氏は「お金じ

やなくて時間を」と応えま

した。

ファンになりそう

最後に「一筆御礼」で阿

川氏は、インタビューを振

り返り「資本主義の良さを

受け入れ、個人の自由を尊

重し、覇権主義国家に断固

異を唱える。この物腰の柔

らかさと意志の強さの按配

(あなばい)がなんと絶

妙で、これぞ志位さんの強

みと合点いたしました

「このままで日本共産党

のファンになってしまいそ

うで、心配」と述べまし